

第54号議案

「令和8年度全日本書写書道教育研究会 第66回全国大会（東京）」の後援名
義の使用について

上記の議案を提出する。

令和8年7月9日

提 出 者 文京区教育委員会

教 育 長 丹羽 恵玲奈

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 後援 名義使用申請書

令和8年5月27日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 全日本書写書道教育研究会
 第66回全国大会 (東京) 運営委員会
 住所 (所在地) 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
 日本女子大学内
 代表者名 (ふりがな) つちがみ のりこ
 運営委員長 土上 智子
 代表者連絡先 TEL 03-5981-7513
 (事務担当者) E-mail tsuchigamin@fc.jwu.ac.jp

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会後援名義を使用したく、
 申請します。

記

事業名	令和8年度全日本書写書道教育研究会 第66回全国大会 (東京)		
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由	本大会は、幼・小・中・高・大が連携して研究を進めており、具体的な授業実践の在り方を研究することを目的としている。本研究の成果を広く地域に還元することは、文京区の教育の質の向上に資するものと考え、後援を申請するものである。		
実施期間	令和8年11月27日 (金) から 令和8年11月28日 (土) まで (2日間)		
実施場所	日本女子大学		
事業内容	目的※	「文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育」を大会主題として、各校種における実践をもとに、効果的な指導の在り方について発信することにより、文京区内及び全国の幼児、児童、生徒に質の高い教育を提供することができる。	
	内容	小学校・中学校・高等学校・大学による研究発表、シンポジウム及び幼児教育を含む各校種の研究成果を掲載した研究紀要の作成	
	対象者	幼児教育・小学校・中学校・高等学校・大学の教員及び学生 (参加予定人員 150人)	
	参加費	5000円 (大学生: 2000円)	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	共催: 東京都小学校書写研究会・日本女子大学人間社会学部教育学科 後援 (申請中): 文部科学省・東京都教育委員会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国大学書道学会・全国大学書写書道教育学会・全日本高等学校書道教育研究会・全日本書道連盟		
備考	申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する		

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

令和8年度 全日本書写書道教育研究会 第66回全国大会(東京)大会要項

大会長 東京学芸大学教授 加藤 泰弘
大会運営委員長 日本女子大学特任教授 土上 智子

【大会主題】文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育

校種別テーマ 幼児教育・文字文化への興味につながる言語活動の工夫
小学校 文字文化に関わる書写の能力を高め、日常に生かす学習指導の工夫
中学校 文字文化に主体的に関わる書写の学習指導
高等学校 文字文化と豊かに関わる多様な書道の学習指導
大学 教員養成における文字文化へ理解を深める授業の在り方

1 期日・会場 日本女子大学

1日目 令和8年11月27日(金) 副理事長会・常任理事会・総会・実践発表
新泉山館1階 大会議室 〒112-0015 東京都文京区目白台1-19-10
2日目 令和8年11月28日(土) 開会式・研究発表・パネルディスカッション
成瀬記念講堂 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

2 主催 全日本書写書道教育研究会

3 共催 日本女子大学人間社会学部教育学科

4 後援 (申請予定) 文部科学省
東京都教育委員会 文京区教育委員会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国大学書写書道教育学会 全国大学書道学会
全日本高等学校書道教育研究会 公益財団法人 全日本書道連盟

5 日程・内容

◎1日目 令和8年11月27日(金) 新泉山館1階 大会議室

○受付(新泉山館ロビー) 12:30~
○副理事長会・常任理事会 13:00~14:00
○総会 14:15~14:45

◆実践発表 15:00~16:40

テーマ「書写の授業を考える」～都小書研スタンダードから

発表者:東京都小学校書写研究会

〇〇区立〇〇小学校 〇〇 〇〇
〇〇区立〇〇小学校 〇〇 〇〇
〇〇区立〇〇小学校 〇〇 〇〇

令和8年5月27日現在

◎2日目 令和8年11月28日(土) 成瀬記念講堂

○受付 8:30～(成瀬記念講堂入口)

○開会式 9:00～9:30

◆研究発表 9:40～12:05

発表 20 分+質問・助言 25 分				
時間	校種	内 容	発表者	司会・助言者
9:40 ～ 10:25	中学校			千葉大学 教授 樋口 咲子
10:30 ～ 11:15	高等学校			武蔵野大学 教授 廣瀬 裕之
11:20 ～ 12:05	大学	教員養成と教員研修の一体化	茨城大学 教授 齋木 久美	東京学芸大学 教授 加藤 泰弘

○昼食・休憩 12:05～13:30

◆パネルディスカッション 13:30～15:00

テーマ「文字文化に関わる資質・能力の育成を目指して」

登壇者：東京大学大学院 教授 酒井 邦嘉 氏

日本文化教育推進機構 代表理事 田代 綾 氏

横浜国立大学 教授 青山 浩之

〇〇区立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇

コーディネーター：土上 智子 日本女子大学特任教授

◇指導・講評 15:10～15:40

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 豊口 和士 先生

○謝辞・閉会式 15:40～16:00

○レセプション 17:00～19:00 (杏彩館)

6 大会参加費 5,000 円 (資料代を含む。学生は 2,000 円)

7 レセプション参加費 5,000 円

※大会参加費とは別に、レセプション参加費 5,000 円が必要です。

全日本書写書道教育研究会 第66回全国大会（東京）参加申込案内

【はじめにお読みください】

＊次の①②の両方について、お申し込みください。

- ① 参加申し込み 右のQRコードから、必要事項を入力してください。
※参加者名簿作成のため、情報提供にご協力ください。



- ② 参加費のお振り込み ※期日までにご入金ください。

○大会参加費 5,000 円（学生は 2,000 円）

○レセプション参加費 5,000 円 ※両方に参加される方は 10,000 円

○参加費振り込み先

ゆうちょ銀行 店名（店番）〇一八（ゼロイチハチ）店（018）

普通預金 口座番号 0432452

口座名 ツチガミ ノリコ（土上 智子）

郵便局窓口(ATM)から送金する場合 記号番号 10140-2-04324521

加入者名 ツチガミ ノリコ（土上 智子）

※手数料は、ご負担ください。また、お振り込み後の返金はいたしかねます。

※振込人名は「氏名・都道府県名」（例：ブンキョウハナコ トウキョウ）のよう
に記載されるよう、変更をお願いします。

お申し込み締切

令和8年11月9日（月）

■連絡事項

- ・本大会では宿泊のご案内はしておりません。また、昼食は各自ご用意ください。
- ・大会に関する緊急の連絡事項も含めて以下のサイトに掲載していきますので、随時ご確認ください。

全日本書写書道教育研究会ウェブサイト
(<http://zenshoken.org/>) QRコード⇒



【お問い合わせ先】

大会事務局

〒124-0004 東京都葛飾区東堀切 3-26-1 TEL 03-3601-8555

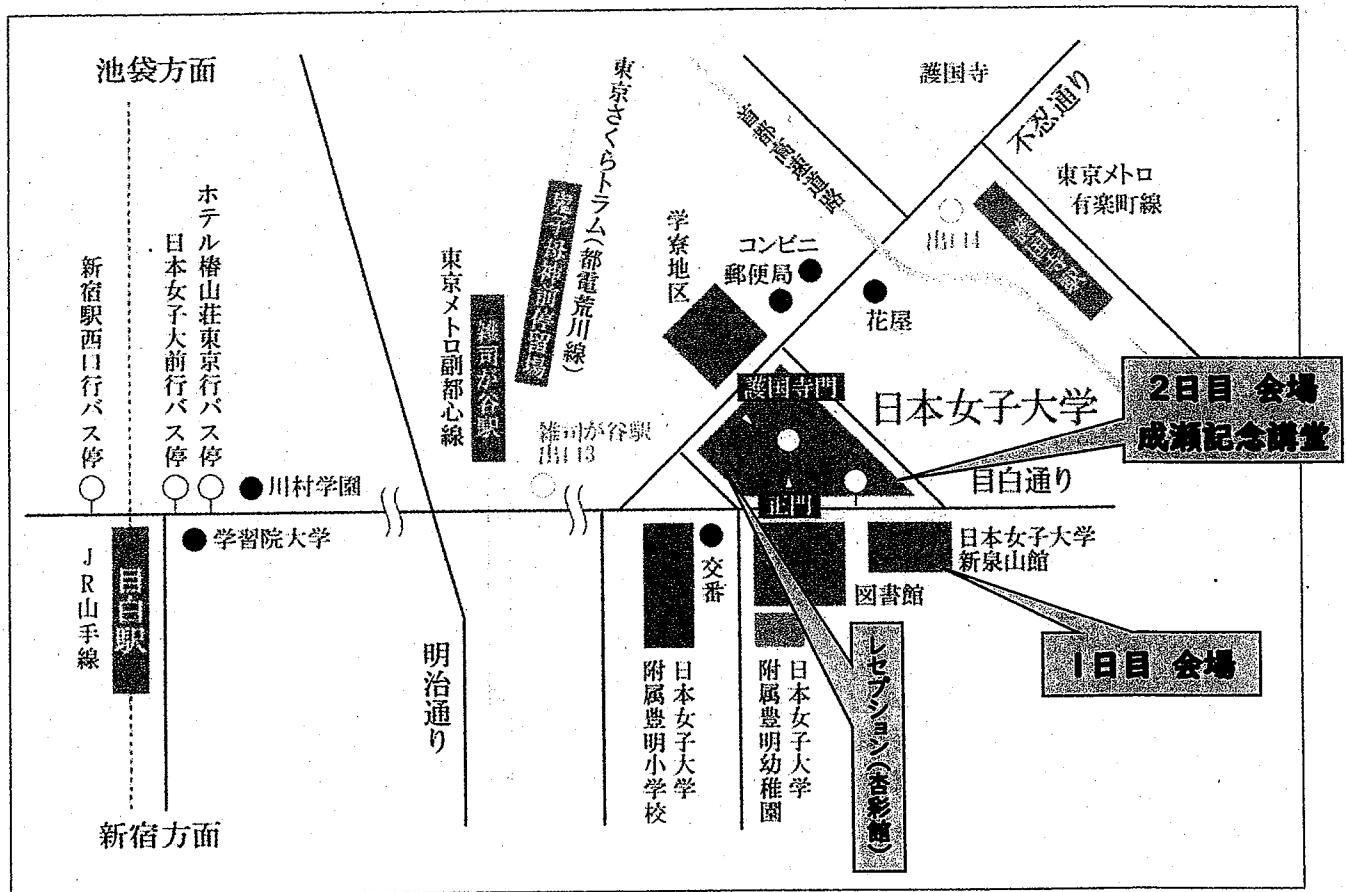
葛飾区立上千葉小学校 校長 宮原 賢二 FAX 03-3838-5759

本部事務局

〒124-0023 東京都東新小岩 7-18-1 TEL 03-3694-1360

葛飾区立二上小学校 校長 岡崎 崇 FAX 03-5698-1736

案内図



JR山手線「目白」駅から

徒歩 約15分

バス 約5分（バス停の位置は地図画像を参照）

【都営バス（学05）】

日本女子大行（直行）

乗車「目白駅前」バス停

下車「日本女子大前」バス停

【都営バス（白61）】

新宿駅西口行き、またはホテル椿山荘東京行き

乗車「目白駅前」バス停

下車「日本女子大前」バス停

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅（3番出口）から

徒歩 約8分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅（4番出口）から

徒歩 約10分

東京さくらトラム（都電荒川線）鬼子母神前停留場から

徒歩 約10分

事業予算書

事業名 第66回全日本書写書道教育研究会
全国大会（東京）

団体名 全日本書写書道教育研究会

収 入		単位：円	支 出		単位：円
大会参加費（5,000円×150）	750,000		謝金（講師等謝金）	300,000	
補助金（全書研本部他）	800,000		研究費（研究部活動費等）	50,000	
その他（利子、助成金他）	100,000		通信費（郵送通信費等）	80,000	
			会場費（会場使用料）	20,000	
			印刷費（要項紀要印刷等）	950,000	
			広報費（記録写真等）	10,000	
			会議費	20,000	
			昼食費	100,000	
			消耗品費	20,000	
			交通費（アルバイト交通費）	100,000	
計	1,650,000		計	1,650,000	

2026 年 6 月 23 日

（備 考）

全日本書写書道教育研究会会則・細則

全日本書写書道教育研究会会則

第1条（名称）

本会は、全日本書写書道教育研究会（略称「全書研」）と称する。

第2条（目的）

本会は、生涯教育も視野に、書写・書道教育の研究並びに振興を図ることを目的とする。

第3条（構成）

1. 本会は、次の団体会員及び個人会員をもって構成する。

A 団体会員

a 団体会員

各都道府県における小学校（幼・保も含む）・中学校・高等学校それぞれの書写・書道教育研究団体及びその構成員。

b 賛助団体会員

本会の趣旨に賛同する書写・書道教育関連団体等。

B 個人会員

a 理事会員

各都道府県代表者（常任理事）及び都道府県各部会代表者（理事）、大学教員（理事）等。

b 普通個人会員

現職の教職員並びに退職した教職員。但し、本会の団体会員たる研究団体に属している場合は団体会員としての資格をすでに有しているため、個人会員b普通個人会員としては取り扱われない。

c 賛助個人会員

本会の趣旨に賛同する個人。（学校教職員であるか否かは問わない。）

2. 第3条に定めた団体並びに個人の入会の手続きは、総務部において扱うものとする。

3. 前項の入会の承認は、所定の入会申込書と入会年度会費納入による手続きの後に、総務部から常任理事会への報告をもって行われるものとする。

4. 団体会員aが退職等により団体会員としての資格を失した際には、個人会員への会員登録の変更手続きをすることができる。

5. 個人会員の退会については、文書による本人からの申し出を原則とし、当該年度までの会費を完納した上で認められ、その手続きは総務部において取り扱うものとする。

第4条（本部及び事務局）

本会の本部並びに事務局を事務統括部長の在勤校に置くものとする。

第5条（事業）

本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 書写・書道教育に関する調査・研究
2. 書写・書道教育の振興に関する活動
3. 全国研究大会の開催

4. 関係諸機関・団体との連絡・折衝
5. 会員相互の連絡並びに広報活動
6. その他必要な事業

第6条（組織）

本会則第2条の目的を達成し、第5条の事業を遂行するための執行機関として、事務局、研究局の2局を置き、事務局内に事務統括部、総務部、会計部、渉外部（企画部より名称変更）、広報部、事務情報部を研究局内に研究統括部、校種別研究部5部（幼児教育部・小学校部・中学校部・高等学校部・大学部）、指導法等調査部、文字文化等調査部、研究情報部を置く。

第7条（役員及び職務）

本会には、次の役員を置き、その職務を担当する。

1. 会 長 1 名 本会を代表する。
1. 副 会 長 若干名 会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
1. 理 事 長 1 名 会務を総理する。
1. 統括副理事長若干名 理事長を補佐し、担当会務を統括する。また、理事長に事故があるとき、又は欠けたとき、理事長が予め指名した順序によりその職務を代行する。
1. 副理事長 若干名 統括副理事長を補佐し、会務を整理する。統括副理事長に事故があるとき、又は欠けたとき、理事長が予め指名した順序によりその職務を代行する。
1. 常任理事 若干名 会務の運営に従事する。
1. 理 事 若干名 会務の遂行に従事する。
1. 監 査 2 名 会務及び会計を監査し、総会に報告する。
1. 研究統括部長1名 局をまとめ、会務の執行に当たる。
1. 事務統括部長1名 局をまとめ、会務を分掌する。
1. 部 長 14名 各部それぞれをまとめ、会務の執行に当たる。
1. 各部次長・委員 若干名 各部長を補佐し、部長に事故があるときは、理事長が予め指名した順序によりその職務を代行する。

第8条（役員の任期）

本会の役員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第9条（名誉会長・顧問・参与）

本会に名誉会長・顧問・参与を置くことができる。

1. 名誉会長・顧問・参与は、常任理事会において推薦する。
2. 名誉会長・顧問・参与は、本会の重要事項につき必要に応じて指導助言することができる。
3. 名誉会長は、必要に応じて、本会及び外部の有識者から選出することができる。
4. 顧問は、学識経験者及び会長・副会長の経験者から推薦する。
5. 参与は、原則として退職者を対象とし、本部役員経験者、本会全国研究大会及び各都道府県における書写道教育に功績のあった者から推薦する。

第10条（役員の選出）

1. 会長・副会長・理事長・統括副理事長・副理事長及び監査は、常任理事会において推薦し、総会で承認を得る。
2. 常任理事は、各都道府県より推薦された都道府県代表者各1名と本部役員並びに会長または理事長が推挙する者とする。

3. 理事は、各団体（各都道府県）より推薦された各都道府県の校種（小・中・高）代表者各1名と大学教員並びに会長または理事長が推挙する者とする。但し、各都道府県の校種代表者に該当者がいない場合には複数校種の兼務を妨げない。また、都道府県代表者が校種代表者を兼任する場合は、常任理事として理事の職務を兼任するものとする。

4. 各部長・部次長・委員は、理事長が委嘱し、総会に報告する。

第11条（機関）

本会には次の機関を置き、会長または理事長がこれを招集する。

1. 総会
2. 常任理事会
3. 副理事長会
4. 理事会
5. 本部役員会
6. 部長・部次長会

総会は、毎年1回行う。但し、必要があるときは臨時に開くことができる。常任理事会並びに副理事長会は原則として全国研究大会時に開催する。その他の会議は、必要のあるときに開催する。各会議は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

第12条（総会）

総会は本会の最高議決機関であり、次の事項を決議する。

1. 会長、理事長、統括副理事長、副理事長、監査の選出
2. 予算・決算の承認
3. 事業計画・報告の承認
4. 会則の変更
5. その他、本会の目的を達成するための重要事項

総会の議長は、そのつど選出する。

第13条（常任理事会）

会長、副会長、理事長、統括副理事長、副理事長、各部局長、各都道府県代表者をもって構成し、総会に次ぐ審議機関である。

第14条（副理事長会）

会長、副会長、理事長、統括副理事長、副理事長、事務局各部長及び研究局各部長をもって構成し、常任理事会に次ぐ審議機関である。

第15条（本部役員会）

会長、副会長、理事長、統括副理事長、副理事長、事務局各部長・次長・委員、研究局各部長・次長・委員をもって構成する。

第16条（局部の職務）

各局部は、次の職務を担当する。

事務局

1. 事務統括部 本会の事務を執り行い、関係諸機関・団体との連絡及び折衝を行う。各会議の開催通知を発送する。
2. 総務部 会員の入退会並びに名簿の管理、会報等の発送の他、他局部に属さない事務の一切を行う。
3. 会計部 本会の会費の徴収及び経費、予算・決算に関する事項を処理する。

4. 渉外部 全国研究大会の開催候補地の選定、研究大会の運営支援等、事業の遂行に関する一切の渉外を行う。
5. 広報部 会報の発行（年2回）等の広報活動全般を行う。
6. 事務情報部 本会のホームページの管理運営を行う。

研究局

1. 研究統括部 全国研究大会における研究内容の協議及び全国研究大会における要望書の立案の他、研究並びに研究支援を通じて本会における書写・書道教育研究の推進活動を行う。
2. 幼児教育部 就学前の書字教育・文字教育、幼小連携についての研究を行う。
3. 小学校部 小学校における国語科書写の指導について研究を行う。
4. 中学校部 中学校における国語科書写の指導について研究を行う。
5. 高等学校部 高等学校における書道科の指導について研究を行う。
6. 大学部 大学における書道科の指導及び教員養成における国語科書写及び書道科の指導について研究を行う。
7. 指導法等調査部 各都道府県における書写・書道教育研究の実態調査・報告、研究紀要等の収集、研究大会時の資料展示等を行う。
8. 文字文化等調査部 日本文化としての文字や書道についての調査・報告、研究紀要等の収集、研究大会時の資料展示等を行う。
9. 研究情報部 各都道府県や書写・書道団体の研究会等の情報を収集し、事務局情報部と連携してホームページ等への掲載を行う。

第17条（研究大会）

全国研究大会は、年1回開催する。

第18条（会計）

1. 会員は、毎年度、所定の会費を納めなければならない。
2. 本会の会計は、第3条の規定による団体会員の会費、個人会員の会費及び寄付金をもってこれに充てる。

A 団体会員

a 団体会員

各都道府県の小（幼・保も含む）・中・高ごとの団体会費を、10,000円とする。

b 賛助団体会員

賛助団体会員会費を、1口10,000円とする。

B 個人会員

a 理事会員

常任理事及び理事の理事会員会費を、2,000円とする。但し、各都道府県代表者（常任理事）及び都道府県各校種代表者（理事）は、本会の団体会員たる団体に属し団体会員会費を納めているため、理事会員個人としての会費納入の責を負わないものとする。また、大学教員等、上記に該当しない者は、理事会員会費2,000円を納入するものとする。

b 普通個人会員

現職並びに退職した教職員の普通個人会員会費を、2,000円とする。但し、本会の団体会員たる研究団体に属している現職の教職員は、団体会員としての資格を有し個人としての会費納入の責を負わないが、退職した教職員並びに本会の団体会員たる研究団体に属していない教職員は普通個人会員として会費納入の責を負うものとする。

c 賛助個人会員

賛助個人会員会費を、1口2,000円とする。

3. 参与は、寄付として1口1,000円（2口以上）を納入するものとする。

4. 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

5. 本会会計に関する予算・決算は、総会に提出して承認を受けなければならない。

第19条

この会則の施行についての細則・諸規程は、常任理事会の議決を経て、会長が別に定める。

付 則

第20条

会則第2条の目的達成に功績のあった者を表彰する。

第21条

理事長は、必要があるときは特別に委員会を設置することができる。

第22条

本会則は昭和34年6月17日から実施する。

1. 昭和52年8月25日会則一部変更
2. 昭和54年8月24日会則一部変更
3. 昭和56年8月21日会則一部変更
4. 昭和57年8月23日会則一部変更
5. 昭和59年8月23日会則一部変更
6. 昭和60年8月23日会則一部変更
7. 平成元年8月19日会則一部変更
8. 平成6年8月7日会則一部変更
9. 平成12年10月13日会則一部変更
10. 平成26年10月31日会則一部変更
11. 平成30年9月7日会則一部変更

本部・事務局 所在地

〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩7-18-1

東京都葛飾区立二上小学校

T E L 03-3694-1360

F A X 03-5698-1736

全日本書写書道教育研究会細則

(役員代行の設置)

1. 会則第7条に定める役員について、必要に応じて会長代行、理事長代行等を置くことができる。

(名誉会長・顧問・参与の選出及び資格)

1. 名誉会長・顧問・参与の選出手続きについては、細則（役員の選出）に定める手続きに準じて行うものとする。

(役員の選出)

1. 会則第10条1に示す役員を選出するときには、役員候補者推薦委員会を設置し、役員候補者を決定するものとする。
2. 役員候補者推薦委員会は、副会長、統括副理事長、副理事長、局部長の中から選出された委員によって構成し、委員長は互選により選出する。
3. 役員候補者推薦委員長は、役員候補者を常任理事会に報告するものとする。

(機関における議長の選出)

1. 会則第11条1に定める総会の議長は、本部1名、開催地1名の計2名を選出するものとする。
2. 会則第11条2に定める機関の議長の選出は、前項の選出手続きに準じて行うものとする。
3. 会則第11条3、4、5に定める機関の議長は、理事長または理事長が指名した者が務めるものとする。

(研究大会)

1. 会則第17条に定める全国研究大会のほか、必要に応じて臨時の研究大会を開催することができる。
2. 全国研究大会の運営は、大会運営委員会を組織し行うものとする。
3. 全国研究大会の開催候補地との調整等は事務局渉外部がその任に当たる。

(その他)

1. 本細則は、平成13年10月11日から施行する。
2. 平成26年10月30日細則一部変更
3. 平成30年9月7日細則一部変更

役職	氏名	所属
◆大会長	加藤 泰弘	東京学芸大学教授
◆大会運営委員長	土上 智子	日本女子大学特任教授
副委員長	宮原 賢二	葛飾区立上千葉小学校校長
	齋藤 健一	杉並区立阿佐ヶ谷中学校校長
◆本部事務局長	岡崎 崇	葛飾区立二上小学校校長
◆大会事務局長	宮原 賢二	葛飾区立上千葉小学校校長
次長	宮本 美津子	葛飾区立柴又小学校校長
庶務	葛西 利昭	江東区立浅間堅川小学校校長
庶務	村上 五香	練馬区立田柄第二小学校主幹教諭
庶務	田中 葉奈	東京学芸大学書道教育研究会
◆本部会計部長	松本 貴子	大東文化大学非常勤講師
◆大会会計部長	土上 智子	日本女子大学特任教授
副部長	小川 高弘	江戸川区立南小岩第二小学校校長
◆研究部長	齋木 久美	茨城大学教授
副部長	土上 智子	日本女子大学特任教授
◆小学校部長	大石 吉郎	江戸川区立二之江小学校校長
副部長（低学年担当）	井上 由美	江東区立第二大島小学校副校長
	濱田 まや	江東区立深川小学校主任教諭
副部長（中学年担当）	木田 那奈	新宿区立四谷小学校副校長
	西村 直哉	葛飾区立中青戸小学校教諭
副部長（高学年担当）	下鶴 文恵	練馬区立光が丘第八小学校副校長
	前川 裕希	港区立麻布小学校主任教諭
◆中学校部長	齋藤 健一	杉並区立阿佐ヶ谷中学校校長
◆高等学校部長	木村 則夫	神奈川県立相模原高等学校副校長
◆広域研究部長	青山 浩之	横浜国立大学教授
◆編集部長	草津 祐介	東京学芸大学准教授
副部長	城間 圭太	東京学芸大学特任准教授
記録	小林 美弥子	江戸川区立西小岩小学校校長
記録	栗林 扶海代	世田谷区立多聞小学校主任教諭

役職	氏名	所属
◆渉外部長	杉山 勇人	鎌倉女子大学教授
副部長	松原 直也	東京学芸大学附属高等学校教諭
◆広報部長	佐藤 美緒	前江戸川区立篠崎小学校校長
副部長	宮原 賢二	葛飾区立上千葉小学校校長
記録	小川 高弘	江戸川区立南小岩第二小学校校長
記録	田邊 佳代子	練馬区立大泉南小学校主任教諭
情報担当部長	草津 祐介	東京学芸大学准教授
副部長	林 美月	東京学芸大学附属竹早中学校教諭

全日本書写書道教育研究会の歩み

年度	回	開催地	会 期	会 場	大 会 主 題	会 長	理事長	都道府県大会長	大会運営委員長	同事務局長
昭和34	結成	東 京	(4/4～11/7)	上野博物館講堂			伊東 寿			
35	1	大 阪	6/8～6/11	済美小、天王寺小、夕陽丘中、夕陽丘高、四天王寺会館	〈書写・書道教育の諸課題〉		田辺 萬平	石橋啓十郎	森田 武射	東野 美周
36	2	滋 賀	6/15～6/18	平野小、大津高、県教育会館	〈書写・書道教育の現況と諸問題〉		石橋啓十郎		小野田慎一	大田 佐亨
37	3	福 井	9/6～9/8	福井大学附属中、武生高、花筐小	書写・書道教育の実際的な在り方		石橋啓十郎	山田 弥	杉本 長雲	有賀 薫
38	4	東 京	9/4～9/7	時習小、文京五中、本所高、教育大	書写・書道教育はいかにあるべきか		上条 周一	上条 周一	鈴木 武夫	鈴木 徳
39	5	大 分	8/23～8/25	大分大附属小・中、別府市国際観光会館	〈書写・書道の理論体系の強化〉		上条 周一	上条 周一	安倍 伸平	
40	6	宮 城	10/7～10/9	仙台東二番丁小、五橋中、第三女子高、県民会館、白萩荘	書写・書道教育の価値観追求		上条 周一	上条 周一	後藤 利正	
41	7	愛 知	7/7～7/9	葵小、あずま中、県立愛知商業、明和高、玉山荘	小・中・高校における書写書道教育の内容検討		上条 周一	上条 周一	石黒美代三郎	
42	8	北海道	8/1～8/3	北九条小、開成高、第一ホテル	書写書道教育の新方向と人間形成		上条 周一	上条 周一	石黒美代三郎	小山 勝英
43	9	東 京	10/31～11/2	教育大、都立鷺宮高、芝浜中、麴絵小、私学会館	書写・書道教育の系統的学習指導の研究	高坂 正顕	上条 周一	上条 周一	青沼 功	加藤 達成
44	10	徳 島	8/7～8/9	徳島市文化センター、吉野旅館、富田小、徳島中、城北高、徳島大	新段階に立つ書写・書道教育の方法	高坂 正顕	伊東 寿	向島 安市	田中 繁夫	笹尾 忠夫
45	11	福 島	9/15～9/17	市公会堂、福島四小、福島四中、福島女高、花水館	新しい書写書道教育の推進	木下 一雄	伊東 寿	伊東 寿	藤本 正	安藤 星喜
46	12	奈 良	8/5～8/7	椿井小、三笠中、県立奈良高、県文化会館	書写・書道教育の現代化	木下 一雄	伊東 寿	奥田 良三	乾 好文	平田 稔
47	13	宮 崎	11/16～11/18	宮崎大附属小・中、市民会館	これからの書写書道教育	木下 一雄	続木 敏郎	続木 敏郎	小川三千雄	貴島淳太郎
48	14	岩 手	8/27～8/29	県民会館、岩手大付属小、城西中、盛岡会館	効果的な指導過程はどうあればよいか	木下 一雄	続木 敏郎	続木 敏郎	吉丸 正夫	白木 敏雄
49	15	東 京	10/31～11/2	東十条小、富士見中、池袋商高、成徳短大、北区公会堂	書写・書道教育の一貫性	木下 一雄	続木 敏郎	続木 敏郎	山下 為吉	本木 三郎
50	16	和歌山	6/5～6/7	紀の国会館、雑賀小、星林高、県民文化会館、県近代美術館・県庁	書写・書道教育の一貫性とその実践	木下 一雄	続木 敏郎	続木 敏郎	天石 弘	島 泰臣
51	17	北海道	8/26～8/28	全日空ホテル、厚生年金会館、北九条小、慈恵女子高	文字意識を深め豊かな人間性を養う書写書道教育	木下 一雄	鵜飼 正治	鵜飼 正治	沖中 義男	中野 史也
52	18	滋 賀	8/24～8/26	近江神宮参集殿、滋賀大学附属小・中、滋賀会館	未来をひらく書教育	木下 一雄	鵜飼 正治	鵜飼 正治	大田 佐亨	池田 哲也
53	19	東 京	8/24～8/26	普門館、私学会館、大聖ホール	豊かな人間性を養う書写・書道教育	木下 一雄	塚田 清策	塚田 清策	吉田 繁	後藤 利雄
54	20	富 山	8/22～8/24	富山県民会館、安野屋小、芝園中、富山中部高、教育文化会館、農協会館	意欲を高め充実をめざす書写書道教育	木下 一雄	塚田 清策	塚田 清策	鶴木 利雄	田近 長信
55	21	新 潟	8/25～8/27	新潟県民会館、白山小、白新中、白山高、白山会館、郵貯会館、自治会館	豊かな人間性を育てる書写・書道教育	木下 一雄	塚田 清策	塚田 清策	三浦 康廣	田近 長信
56	22	大 阪	8/19～8/21	なにわ会館、大阪教育青少年センター、大阪立労働会館ビロティホール	充実と発展をめざす書写・書道教育	木下 一雄	吉田 繁	井上 直弘	中遠 勇	西橋 靖雄

年度	回	開催地	会 期	会 場	大 会 主 題	会 長	理事長	都道府県大会長	大会運営委員長	同事務局長
57	23	北海道	8/22～8/24	ホテル・アカシア、創成小、中島中、教育文化会館	豊かな文字感覚を育てる書写書道教育	木下 一雄	吉田 繁	武村 猛	武村 猛	藤根 信章
58	24	鳥 取	8/22～8/24	第一ホテル、久松小、北中、鳥取西高、市民会館、福祉文化会館	確かで豊かな表現力を育てる書写書道教育	木下 一雄	吉田 繁	松川 敬美	松川 敬美	稲垣 文三
59	25	埼 玉	8/22～8/24	川越平安閣、川越第一小、川越小、初雁中、川越高、市民会館、氷川会館	文字意識を高め表現力を育てる書写書道教育	木下 一雄	中村 直之	小名木康佑	新井 好一	吉沢 義和
60	26	佐 賀	8/22～8/24	赤松小、城南中、佐賀西高、はがくれ荘、山水荘、第一生命、市民会館、県立美術館	書写書道教育における望ましい方向とその実践	代行 上条 周一	中村 直之	太田彌太郎	太田彌太郎	斎藤 博
61	27	東 京	8/20～8/22	国立教育会館	「自己教育力」の育成をめざす書写書道教育	有光 次郎	中村 直之	中村 直之	後藤 利雄	山形 鼎
62	28	愛 知	8/19～8/21	愛知県文化会館、東桜小、名城小、富士中、明和高、不二パークホテル	21世紀をめざす人間づくりに役立つ書写書道教育	有光 次郎	中村 直之	中村 直之	杉山 健	高木 健治
63	29	東 京	8/19～8/21	東京学芸大学	新・学習指導要領の目指す書写書道教育	有光 次郎	小木 良一	小木 良一	井上 輝夫	府川 次男
平成1	30	東 京	8/18～8/20	東京学芸大学	基礎・基本を重視し個性を生かす書写書道教育	有光 次郎	小木 良一	小木 良一	井上 輝夫	府川 次男
2	31	北海道	8/27～8/29	神居東小、神居東中、旭川西高、旭川市市民文化会館、トーヨーホテル	文字文化を正しく継承し、豊かな心を育てる書写・書道教育	有光 次郎	小木 良一	小木 良一	平田善次郎	山田 弘道
3	32	沖 縄	8/19～8/21	浦添小、浦添市社会福祉センター、浦添市民会館、パシフィックホテル	基礎・基本を重視し、豊かな人間性を育てる書写・書道教育	有光 次郎	小木 良一	小木 良一	金城 珍諒	木村 茂夫
4	33	静 岡	10/7～10/9	静岡宮竹小、南中、静岡市民会館	自ら学ぶ意欲と、確かで豊かな能力を育てる書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	杉山 義逸	松本 健作
5	34	東 京	9/16～9/18	二松学舎大、大妻中、大妻女子大、富士見小	生涯学習の基礎を培う書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	浦野 俊則	加藤 祐司
6	35	秋 田	10/5～10/7	大曲小、大曲中、大曲高、大曲市民会館中央公民館、グランドホテル大曲	文字意識を高め、自ら学ぶ意欲を育てる書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	斎藤 誠	木村 剛
7	36	東 京	10/12～10/13	東京家政大、王子第五小、東京家政大附属中学校・高等学校	生涯学習の基礎を培う書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	吉田 貞夫	網野 壮司
8	37	高 知	10/23～10/25	旭小、旭中、高知南高、三翠園ホテル、県民文化ホール、グリーンホール	文字意識を高め、豊かな表現力を育てる書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	梶原 正仁	岡田 勉
9	38	福 島	10/23～10/24	浪江小、浪江中、原町高、ホテル百足屋、ウェディングプラザ如水	自己教育力を培う書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	小川兼太郎	三瓶 雅
10	39	長 野	9/4～9/5	裾花小、川中島中、長野高	生きる力を育む書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	町井 秀司	阿部 惣一
11	40	埼 玉	10/29～10/30	大宮小、桜木小、植竹中、大宮光陵高、大宮ソニック	豊かな心を育む書写書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	吉沢 義和	石井 茂	中山 幸男
12	41	東 京	10/12～10/13	平井小、瑞江第三中、紅葉川高、グリーンパレス、江戸川区総合文化センター	生活に生かす書写・書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	平野 克彦	青木 紘子
13	42	北海道	10/11～10/12	桑園小、陵陽中、ホテルライフオート札幌	生きる力を育む書写・書道教育	藤原 宏	井上 輝夫	井上 輝夫	羽毛 國雄	角谷 毅
14	43	東 京	10/10～10/11	要小、千川中、十文字高、豊島区民センター、豊島公会堂	生活に生かす書写・書道教育	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	平野 克彦	永瀬 隆行
15	44	東 京	11/14	財団法人日本教育会館	個を生かす書写・書道教育	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	平野 克彦	直江 教子

年度	回	開催地	会 期	会 場	大 会 主 題	会 長	理 事 長	都道府県大会長	大会運営委員長	同事務局長
16	45	埼 玉	11/4～11/5	植水小、常盤中、大宮光陵高、大宮ソニック	個を生かす書写・書道教育と評価	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	佐藤 満也	風間 方子
17	46	大 分	11/10～11/11	iichiko総合文化センター、金池小、中島小、下郡小、大分西中、大分西高、聾学校	個を生かす書写・書道教育	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	児玉 元治	那賀 修司
18	47	東 京	11/10	セシオン杉並、堀之内小	学習過程を重視した書写・書道教育	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	平野 克彦	宮 綯子
19	48	香 川	11/1～11/2	一宮小、一宮中、社会福祉総合センター サンポートホール高松、ロイヤルパークホテル高松	夢・人・心をつなぐ書写書道教育	藤原 宏	加藤 祐司	加藤 祐司	松本 昌郎	福井勢津子
20	49	東 京	11/21	東京学芸大学、東京学芸大学附属小金井小	書く文化を支える書写・書道教育	代行 井上 輝夫	加藤 祐司	加藤 祐司	平野 克彦	永瀬 隆行
21	50	埼 玉	11/12～11/13	川越小、富士見中、ラフレ埼玉	書く文化をはぐくむ書写・書道教育 —習得・活用・探究—	井上 輝夫	加藤 祐司	加藤 祐司	鶴 憲次郎	小原 茂
22	51	愛 知	11/18～11/19	ルブラ王山	生涯学習の基礎・基本を築く書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	安達 健治	天野 広美
23	52	京 都	11/10～11/11	ルビノ京都堀川、京都市総合教育センター	文字文化の扉を拓く書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	島田 京子	丸橋 正幸
24	53	東 京	9/27～9/28	王子第五小、加賀中、東京家政大	書字文化の担い手を育む書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	宮 綯子	並木 玲子
25	54	千 葉	10/17～10/18	木更津市民会館、木更津市立岩根小学校	書字文化の担い手を育む書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	大胡 利一	大木 昌代
26	55	高 知	10/30～10/31	高知会館、いの町立伊野南小学校、いの町立伊野南中学校	書字文化を育む書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	大谷 俊彦	尾崎佐知子
27	56	東 京	8/27	東京家政大学	書字文化を育む書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	宮 綯子	並木 玲子
28	57	埼 玉	8/27	文教大学	書字文化を育む書写書道教育	井上 輝夫	長野 秀章	長野 秀章	萩田 哲男	豊口 和士
29	58	静 岡	8/8～8/9	クリエイト浜松	文字文化の担い手を育てる書写書道教育 “親しみ 楽しみ 深める”	代行 加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	紅林 定宏	青島 秀夫 藤下 恵里
30	59	北海道	9/6～9/7	札幌市立中央中学校、ホテルライフォート札幌（震災のため本大会中止）	確かな書写力を身に付け、文字文化を大切にすることを育む書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	高谷 義人	佐々木雅哉
令和1	60	東 京	9/12～9/13	葛飾区地域産業振興会館（テクノプラザかつしか）、葛飾区立中青戸小学校	書字文化を育む書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	加藤 泰弘	玉置 克也
3	61	神奈川	2/18～2/19	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校、鎌倉女子大学	文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	青山 浩之	杉山 勇人
4	62	東 京	11/4～11/5	江戸川区立南小岩第二小学校、タワーホール船堀	文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	加藤 泰弘	上上 智子
5	63	東 京	11/17～11/18	武蔵野大学武蔵野キャンパス、武蔵野大学附属幼稚園	文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	廣瀬 裕之	草津 祐介
6	64	香 川	10/31～11/1	丸亀市立城乾小学校、丸亀市生涯学習センター	文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	藤田 剛志	高木 明美
7	65	千 葉	11/26～11/27	千葉大学教育学部、千葉大学教育学部附属中学校	文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育	加藤 祐司	長野 秀章	長野 秀章	樋口 咲子	西野 暁子

関係各位

〈第一次案内〉

令和8年度 全日本書写書道教育研究会 第66回全国大会（東京）

大会長 東京学芸大学教授 加藤 泰弘
大会運営委員長 日本女子大学特任教授 土上 智子

【大会主題】

文字文化に関わる資質・能力の育成を目指す書写書道教育

1 期日・会場 日本女子大学

1日目 令和8年11月27日(金) 副理事長会・常任理事会・総会・実践発表

新泉山館1階 大会議室 〒112-0015 東京都文京区目白台1-19-10

◇タイムスケジュール(予定)

○受付 12:30～

○副理事長会・常任理事会 13:00～

○総会 14:15～

◆実践発表「書写の授業を考える」～都小書研スタンダードから～
15:00～

2日目 令和8年11月28日(土) 開会式・研究発表・パネルディスカッション

成瀬記念講堂

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

◇タイムスケジュール(予定)

○受付 8:30～

(午前の部)

○開会式 9:00～

◆研究発表 9:40～

〈昼食〉 11:50～

(午後の部)

◆パネルディスカッション 13:30～

(仮題)「文字文化に関わる資質・能力の育成を目指して」

◇指導・講評 15:10～

○謝辞・閉会式 15:50～

○レセプション 17:00～

2 主催 全日本書写書道教育研究会

3 共催 日本女子大学人間社会学部教育学科

4 後援
(申請予定)

文部科学省

東京都教育委員会

全国連合小学校長会

全国大学書写書道教育学会

全日本高等学校書道教育研究会

文京区教育委員会

全日本中学校長会

全国大学書道学会

公益財団法人 全日本書道連盟

5 大会参加費 5,000 円 (資料代を含む。学生は 2,000 円) ※レセプション参加費別途 5,000 円

〔お問い合わせ先〕 大会事務局

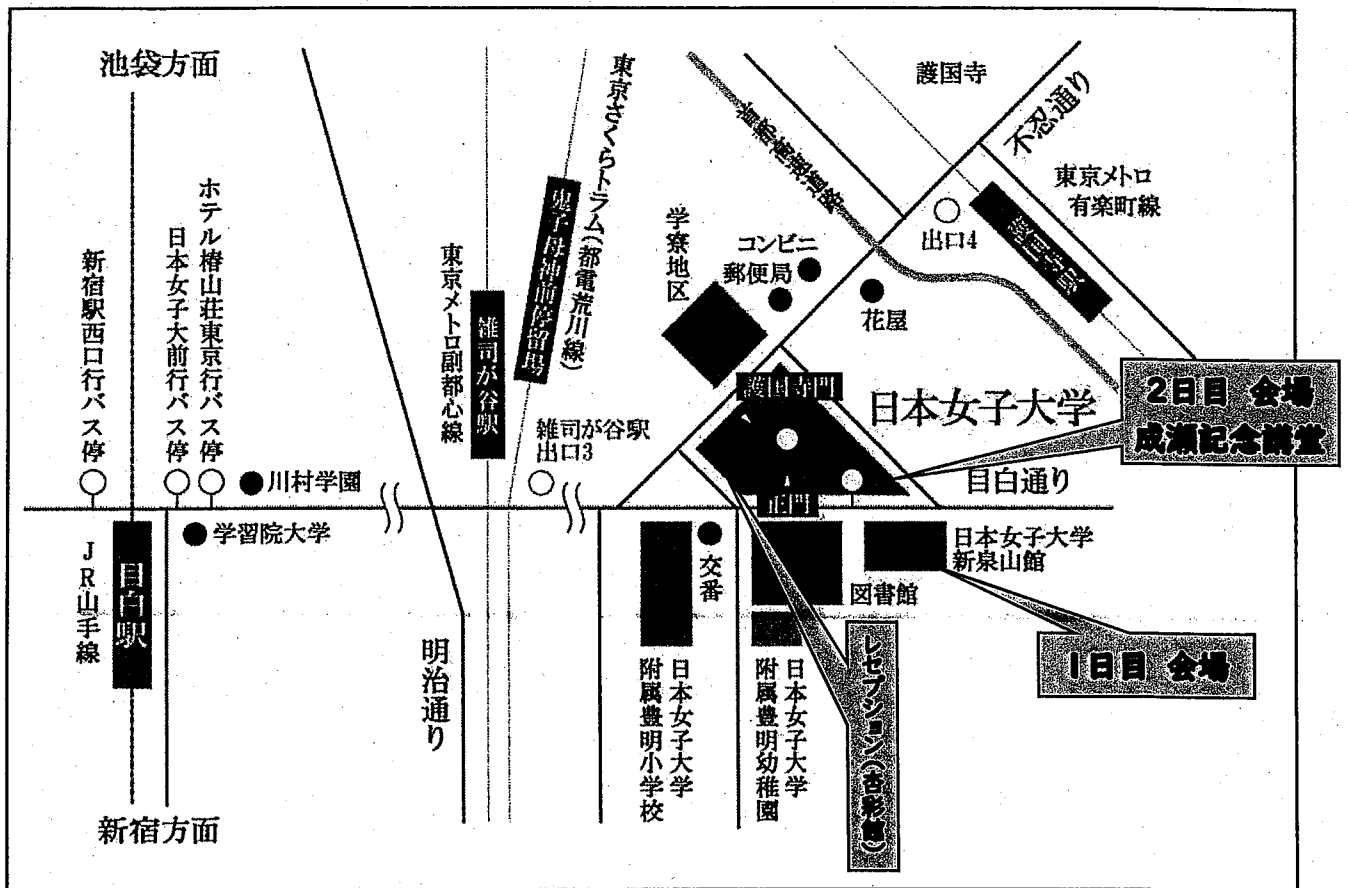
〒124-0004 東京都葛飾区東堀切 3-26-1

葛飾区立上千葉小学校 校長 宮原 賢二

TEL 03-3601-8555

FAX 03-3838-5759

案内図



JR山手線「目白」駅から

徒歩 約15分

バス 約5分（バス停の位置は地図画像を参照）

【都営バス（学05）】

日本女子大行（直行）

乗車「目白駅前」バス停

下車「日本女子大前」バス停

【都営バス（白61）】

新宿駅西口行き、またはホテル椿山荘東京行き

乗車「目白駅前」バス停

下車「日本女子大前」バス停

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅（3番出口）から

徒歩 約8分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅（4番出口）から

徒歩 約10分

東京さくらトラム（都電荒川線）鬼子母神前停留場から

徒歩 約10分

令和8年5月27日

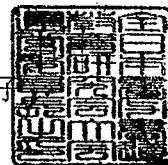
確認書

文京区教育委員会 殿

住所（所在地） 〒112-8681
東京都文京区目白台2-8-1
日本女子大学内

申請者（申請団体） 全日本書写書道教育研究会
第66回全国大会（東京）
運営委員会

代表者名 運営委員長 土上 智子



文京区教育委員会後援名義を申請するに当たり、文京区教育委員会
後援名義等使用承認要綱を遵守し、以下の行為は行いません。

- 1 営利を目的とした行為
(物品の販売、会員の勧誘、営利目的事業の宣伝・チラシ配付等の行為)
- 2 政治的又は宗教的な行為
- 3 その他委員会の教育方針等に反する行為

仮に違反した場合、後援名義等使用承認要綱に基づき、後援名義使用の承認を
取消されることを了解しています。